

学生からのコメント

こんにちは、今回研究室紹介を書くことになった栗原研4年の山本稜です。まずは学業について紹介していきたいと思います。現在、私達の研究室では週一回のセミナーを通じて整数論について勉強しています。今年の4年生のセミナーではセールの『数論講義』を読み進め、内容に関する発表を行っています。セミナーには栗原先生だけでなく修士課程、博士課程の先輩方にも出席していただいている、先生、先輩方の指導のおかげでよりいっそう理解が深まります。発表の準備は楽ではありませんが、初めは全く分からなかったことが一週間かけてようやく理解できたとき、そして後から見返して話の流れに気がついたときの達成感は格別のものだと思います。

学業以外にも栗原研にはさまざまなイベントがあります。まず、毎年恒例の行事として栗原研では年に2回の野球の早慶戦に応援に行きます。これには研究室のメンバーだけでなくOB、OGの方々も参加されます。先日の秋の早慶戦は悪天候の中の試合観戦となりましたが、ファールボールを捕るという貴重な経験ができました。今年の早慶戦では、福谷・黒須という理工学部バッテリーを見ることができました。自分と同じ理工学部の4年生が天下の早慶戦(テレビ中継もありました)で戦っているのを見られたのはとても楽しかったです。今年の9月は、イギリスのNottingham大学の教授が来て、Number Theory day in Keioが行われたり、阿蘇山で行われた整数論サマースクール



に栗原研の大学院生の方々が大挙して出かけた(何人も講演したそうです)などして、例年の合宿が行われなかったのが、大変残念でした。聞くところによると、合宿では与えられた課題を発表し、またそれ以外にも軽い登山、草野球、バーベキュー、飲み会などいろいろなことをすると聞きました。夜遅くまで飲み会があるにもかかわらず、朝6時に起きて湖のまわりをジョギングというのもあるそうで、先生と速さを競うことを楽しみにしている先輩たちもいるようで、文化部系の合宿なのか、運動部系の合宿なのか、僕にはよくわかりません。今から来年を大変楽しみにしています。

数学が得意、好きという人はもちろん、これまでの数学があまり得意でないという人もこれからの勉強で十分間に合います、たぶん。栗原研と一緒に数学を勉強してみませんか？

教員からのコメント



整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。ちょうど、山に登ったときに、上に行けば行くほど美しい景色が広がるように、先に進めば進むほど、美しい景色が広がります。写真を撮ってきて、見せてあげたいとも思いますが、やはり写真では本物の感動は伝わらないようです。自分で汗をかくて登ってみて、初めてめぐ

り合える景色は格別です。数理科学科に来て、数学を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかると思います。皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。なお、整数論は代数系に分類されていますので、まずは代数を勉強してほしいと思います。今までの数学が苦手な人でも、これからの勉強で代数系の科目は十分に間に合います。要は興味を持って自分で進むことです。数理科学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。